

第 192 回 日本材料学会 岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 21 年 1 月 16 日（金）13：30－17：00

場 所： 京都大学 吉田キャンパス 土木工学教室本館 281 号室

出席者（敬称略）：朝倉俊弘（委員長），石田毅，宇津木慎司（Obs.），菊地宏吉，岸田潔，
西藤潤（Obs.），齋藤敏明，佐々宏一，寺田道直，三ヶ田均（講演者），
水戸義忠，笹尾春夫（幹事） 以上 12 名。

1. 講 演

- (1) 「南海トラフの巨大地震－地震発生メカニズム解明への挑戦－」

京都大学 大学院 社会基盤工学専攻

地殻工学講座 ジオフィジクス分野 教授 三ヶ田 均 氏

- (2) 「南部フォッサマグナ地域における糸静線の活動性と地震発生の可能性

－歴史資料および既往地質・地震資料を用いた検討（菊地の見解）－」

京都大学名誉教授（東電設計顧問） 菊地 宏吉 氏

2. 委員会報告・審議

- (0) 前回議事録の確認－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－（資料 1 頁）

前回議事録の確認が行われ，承認された。

- (1) 第 58 期総会・学術講演会ならびに各種併設行事について－－－－－－－－－－－－－－－－（資料 3 頁）

日本材料学会次期総会・学術講演会について朝倉委員長より概略説明があり，また，オーガナイズドセッション（「岩石力学とその応用」）への論文投稿および参加要請があった。

- (2) 部門委員会の新公益法人制度対応について－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－（資料 7 頁）

朝倉委員長より材料学会の新公益法人制度への対応状況について説明があった。また，部門委員会としても会員以外の参加者の受け入れ等，今後検討を要する事項がある旨説明があった。

- (3) 平成 20 年度事業報告，決算報告書および平成 21 年度事業計画，予算書について－（資料 9 頁）

朝倉委員長より決算等のスケジュール，フォーマット他について説明があった。このうち，21 年度事業計画，予算書については作成が委員会当日（1 / 16）までに間に合わなかったため，笹尾幹事が早急に作成し，メール審議で部門委員会の承認を得るものとするのが承認された。

- (4) 将来構想WG委員選出の方法について－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－（資料 16 頁）

学会の将来構想WG委員へは，当部門委員会が属する土木グループ（地盤，岩力）から地盤改良部門委員会が代表として委員を派遣している旨，説明があった。

- (5) 会誌「材料」特集号発刊希望調査について－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－（資料 17 頁）

学会より標記希望調査があったことに関して，笹尾幹事より，次回特集号は平成 22 年 3 月号（岩石力学大特集）であり，原稿締め切りは 21 年 7 月である旨説明があった。次々回特集号はその 2 年後とし，

委員長，幹事が相談し学会に発刊希望を提出することが承認された。

(6) 委員会活動報告について----- (資料 2 2 頁)

笹尾幹事より委員会活動報告原稿について説明があった。例年，以前の報告文のうち当該年度に関する部分（委員会，見学会報告等）を修正して提出しているが，本年度も同様に作成することとする。なお，従来使用している文章の一部に現状にそぐわない箇所があるため，適宜修正し作成することとする。また，今年度の報告部分には岩の力学国内シンポジウムへの開催協賛についても記述することとする。

報告書は笹尾幹事が作成の上，メール審議で承認を得るものとする。

(7) 部門担当委員（編集委員会）推薦について----- (資料 2 6 頁)

部門担当委員は西山委員に継続して委嘱するものとする旨，承認された。西山委員は欠席のため，笹尾幹事より本人に確認することとする。

(8) 次期企画事業委員会委員推薦について----- (資料 3 2 頁)

事業委員会委員は村田委員に継続して委嘱するものとする旨，承認された。村田委員は欠席のため，笹尾幹事より本人に確認することとする。

(9) 岩の力学連合会 次期理事・専門幹事候補者推薦について----- (資料 3 3 頁)

連合会より，標記役員の推薦依頼があった。理事 2 名のうち市川委員が 2 期目であるため退任し，笹尾幹事を理事として推薦することが承認された。また，それに伴い笹尾委員が専門幹事を退任するため，水戸委員を専門幹事として推薦することが承認された。

次期理事候補：石田委員（留任），笹尾委員（新任）

次期専門幹事候補：村田委員（留任），水戸委員（新任）

(10) 第 5 3 回日本学術会議材料工学連合講演会に関する協力依頼----- (資料 3 5 頁)

学会から標記連合会オーガナイズドセッション等への参加協力要請があったが，当部門委員会は例年どおり参加を見合わせる旨，承認された。

(11) 材料学会用語集ホームページの用語執筆について----- (資料 4 0 頁)

学会より用語集 HP 執筆協力があった。当部門委員会として協力するかどうかについて，各委員は学会 HP を参照のうえ，委員長，幹事までメールで意見を送付することとする（締め切り：3 / 3 1）。

(12) その他

次回は見学会として委員会を開催する。次期は 4 月～5 月の連休前後とする。各委員から候補地として以下が推薦された。委員長と幹事で開催場所，日程を調整することとする。

- ・幌延（JAEA による大深度立坑の掘削実証サイトの建設状況の視察）
- ・奈川渡ダム（東電が建設し，管理するダムの現況の視察）
- ・北海道新幹線函館～木古内（北海道新幹線の建設中のトンネル現場の視察）

3. 懇親会

委員会終了後，カンフォーラで懇親会を開催した。参加者は 1 1 名。